学校番号	416

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界史Ｂ　新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

原始から近世までの世界の歴史をしっかり学習し、基礎的な知識を身につけ、その知識をもとに思考・判断し、自らの行動を客観的に理解し考え行動することのできる力を身に着けさせる。歴史の中からヒントを得て、主体的に考え判断し行動できる人材を育てる。ICT を積極的に活用し、生徒の理解を深める。グループワークなどを定期的に用い、生徒の主体性・判断力・表現力を養う。

教科書の本文と資料をもとに、それぞれの地域・時代の特性を自ら思考・判断・表現し、世界史の知識・理解を深めて自分の歴史観を持てるように育てる。

今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

原始から近世までの世界史の知識をしっかり習得し、世界各地の歴史・文化を理解し、それらを尊重しグローバルな国際社会を生き抜くうえで必要な資質を養う。

自らの知識をもとに、自分の行動を客観的にみることのできる思考力・判断力を身につけ、社会に生きる一員として自らがとるべき行動を選択することのできる力をつける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究する。	世界の歴史を多面的・多角的に考察し、自分の持っている知識を基に考えを持つ。文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	世界の歴史についての諸資料を収集し，有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	世界の歴史についての基本的な事柄を，我が国の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 ノート プリント集	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代	・オリエント文明 ・ローマ ・古代インド ・中華帝国の形成 ・イスラーム国家の成立	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、文明間の交流について関心を高め、意欲的に追究している。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、時間的空間的事象と関連づけて、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:同時代にどの王朝が並立していたか、同一地域の王朝の盛衰について整理して理解し、その知識を身につけている。	授業プリント 定期考査
	ヨーロッパ世界の形成と変動	・ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界 ・西ヨーロッパ世界の成立 ・ヨーロッパ世界の変動	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:東西ヨーロッパ世界の文化について関心を高め、意欲的に追究している。 b:　各国家の盛衰の原因を多面的多角的に考察している。 c:　様々な資料から西ヨーロッパ世界、東ヨーロッパ世界の成立過程やそれぞれの特徴を読み取り比較してまとめている。 d:各国家の特質を理解し、その知識を身につけている。	授業プリント 定期考査
2学期	アジア諸地域世界の繁栄と成熟	・明と清の繁栄 ・東アジア諸国の発展 ・東南アジアの大航海時代 ・イスラーム諸国家の繁栄	 ○	○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:中華帝国の文化・思想が、日本に与えた影響に関心を高め、意欲的に追究している。 b:　明、清の成立過程やそれぞれの特徴を比較し考察している。 c:地図などの資料を用いて、東アジア・東南アジア・西アジア・中央アジア諸王朝の時系列的空間的広がりを把握し、図表などにまとめている。 d:　各国家の特質を理解し、その知識を身につけている。	授業プリント 定期考査

	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	・大航海時代 ・ルネサンスと宗教改革 ・近代主権国家の成立	 ○ 	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: ルネサンスと近代科学の発達とのつながりに関心をもち、意欲的に追究している。 b: 大航海時代の背景や絶対王政の成立過程や特質について考察している。 c:様々な資料から、大航海時代の航路、ルネサンスの広がり、宗教戦争の推移を図表などにまとめている。 d:大航海時代、ルネサンス、宗教改革、絶対王政と推移するヨーロッパ社会について理解し、知識を身につけている。	授業プリント 定期考査
3学期	近現代	・産業革命と世界市場の形成 ・2つの世界大戦 ・戦後世界の形成 ・冷戦と冷戦後の世界	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 産業革命、帝国主義が世界に与えた影響に関心をもっている。それぞれの出来事が世界に波及していく原因と効果を意欲的に追究している。 b: ２つの世界大戦が起こった原因と世界に及ぼした効果を考察している。 c:地図などの資料を用いて、植民地政策の広がりや戦後冷戦構造について、図表などにまとめている。世界平和のために少しでも紛争の原因を減らすにはどうすればよいか資料に基づき考察し表現する。 d:産業革命から近現代の歴史的事項について理解し、知識を身につけている。	授業プリント 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。